

結果報告□9月Web教えてモニター「ウイスキー&ハイボール」

【テーマ・商品】

ウイスキー&ハイボール

【モニター目的】

ウイスキー&ハイボールの利用実態を情報収集し、情報を企画や品揃えに活かす。

【回答期間】 9/25～10/5 【回答者数】 302名

■総評

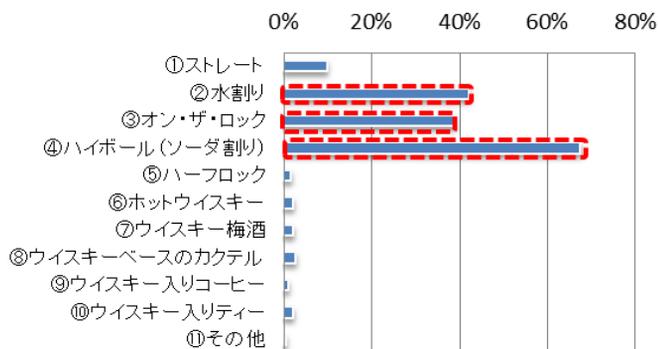
(1)アンケートの回収データに調整を加えて予想される全組合員のウイスキー飲酒率は、「よく飲む」が9.2%、「ときどき飲む」が44.9%、「ほとんど(まったく)飲まない」が46.0%でした。世代の違いによる差はほとんど見られません。ウイスキーを自宅で飲む頻度は「週2～3回」が20.8%で最も多く、次いで「週1回」が18.0%、「月2～3回」と「月1回」が16.4%で続きます。ファミリー層とシルバー層の頻度がやや高く、シニア層の頻度が若干低くなっています。

(2)飲みたくなるタイミングは、「リラックスしたいとき」(33.3%)、「食中」(27.8%)、「料理メニューがお酒に合いそうなとき」(27.8%)、「寝る前」(23.3%)等でした。若い世代は休日前、シルバー層は食前にもよく飲んでいきます。飲み方は①ハイボール(67.6%)②水割り(42.3%)③オン・ザ・ロック(39.0%)の順ですが、若い世代は圧倒的に流行のハイボールで、一方、シルバー層はオン・ザ・ロックや水割りでと、飲み方が異なります。ストレートやホットウイスキー、カクテルではどの世代にもほとんど飲まれていません。

(3)ウイスキーを選ぶさいに重視する点は、「味」、「香り」、「口当たり」、「価格」あたりですが、その中で最も重視するのはやはり「味」で、38.8%の方がトップに挙げています。

(4)ハイボールを愛飲する方の78.1%は自分でウイスキーとソーダを割って作っており、主に缶入りの完成品を利用する方は21.9%にとどまっています。ただシルバー層は缶入り製品の利用が37.5%と他の世代の2倍前後に達しています。缶入りハイボールでは、サントリーの「角ハイボール」の利用率が92.7%と群を抜き、「トリスハイボール」(26.8%)などを大きく引き離しています。

ウイスキーの飲み方



■組合員の声

- ・歳と共に飲酒量が減ってきているので、おいしいものを少量楽しく飲めるのが一番。
- ・大量生産ではなく、個性のあるものが良い。樽の木の素材も気になる。
- ・ウイスキーといえば、ハイボールやロックでしか飲みませんが、家で簡単にできるカクテルなどがあれば知りたいです。
- ・年一度でいいので、シングルモルトの輸入企画を催してほしいです。
- ・扱っている頻度も種類を増やしてほしい。一緒に使うレモンなども充実させて欲しい。
- ・オンザロック用とハイボール用を使い分けている。
- ・ハイボールの少ない量の缶があればいいです。価格が高くてもいいので、いろいろなウイスキー銘柄の缶があればいいですね。